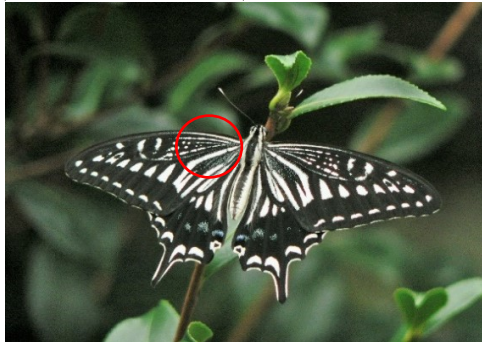


# 1 アゲハチョウのなかま

## 黄色いアゲハ

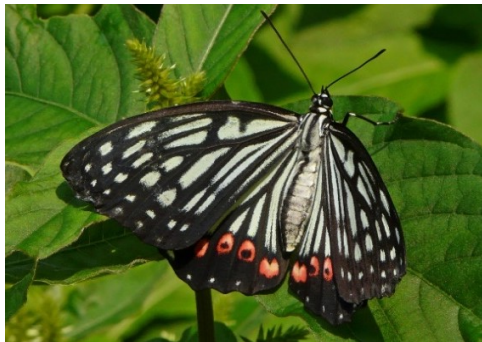
よくにたナミアゲハとキアゲハ。○をよく見てね！



ナミアゲハ これが一番ふつうにみる



キアゲハ 水辺の草原に多い



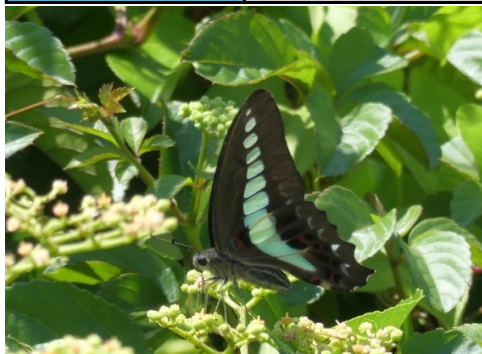
アカボシゴマダラ アゲハのなかまではない

### アカボシゴマダラについて

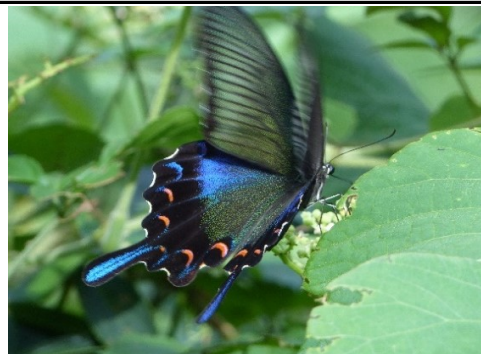
アカボシゴマダラは、アゲハチョウではなく、タテハチョウのなかまです。海外から持ちこまれた外来種です。港区内でも30年ほど前からみられるようになりました。もともと住んでいたゴマダラチョウと、すみかが重なるため、心配されています。

## 青いアゲハ

カラスアゲハは、クロアゲハのようですが…



アオスジアゲハ 飛び方がとても速い



カラスアゲハ はねの内側は青くかがやく

港区内では、約10種類のアゲハチョウがみられるよ

ぼくが本物のクロアゲハちゃん



## 黒いアゲハ

黒いアゲハは、たくさんいるよ。



クロアゲハ これが一番多い



モンキアゲハ 後ろばねに白いもん



ナガサキアゲハ しっぽがない



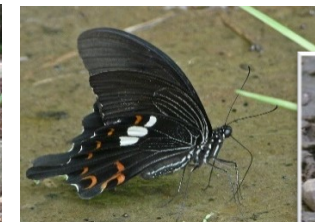
ジャコウアゲハ 体に赤い線がある

### こんな所でも…。

チョウは、暑い日に湿った地面へおりて、水を吸って体を冷やします。



クロアゲハ



↑モンキアゲハ



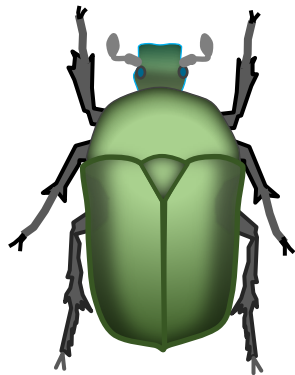
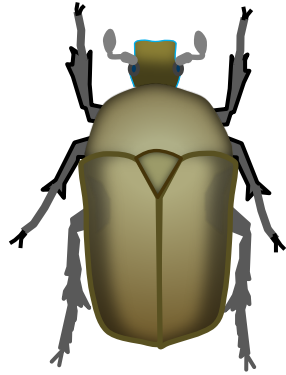
↓ナミアゲハ

口を伸ばして水を吸っている

# 2

## コガネムシのなかま

これがほんとうのカナブン  
体が茶色いものが多いが、緑色のものものもある



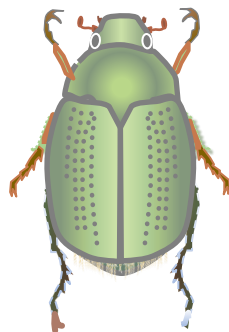
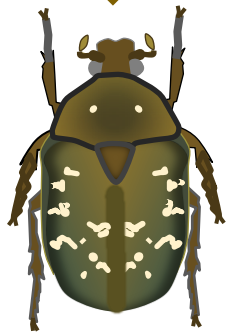
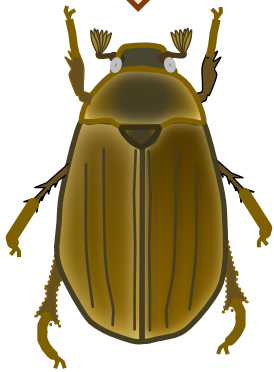
体はピカピカがやき、  
もようはない

頭や体は四角っぽい

ピカピカ  
じゃないな

体に白いも  
ようがある

体も頭も、  
丸っこいかな



**コフキコガネ**

大きさ 2.7~3.2cm  
食べ物 木や草の葉

**シロテンハナムグリ**

大きさ 2.0~2.5cm  
食べ物 樹液や花ふん

**アオドウガネ**

大きさ 1.80~2.5cm  
食べ物 木や草の葉

わたしが  
カナブンです！



種類によって、見つかる場所も変わるよ

カナブンやシロテンハナムグリは、  
木の樹液を吸いに集まる

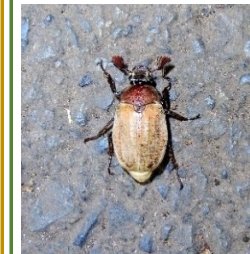


カナブンとシロテンハナムグリ  
いっしょにいるのは、ゴマダラチョウ

アオドウガネは、  
木や草の葉を食べる



アイビーの葉を食べるアオドウガネ



コフキコガネも木の  
葉を食べる。  
明りによく集まる  
ため、町のなかで  
は、道に転がって  
いるのがよく見ら  
れる。

小さなコガネムシ

カナブンや、アオドウガネは2.5cm~3cmくらい。  
でも、もっと小さななかまもあるよ。



**コアオハナムグリ**

大きさ 1~1.5cm  
食べ物 花ふん



**セマダラコガネ**

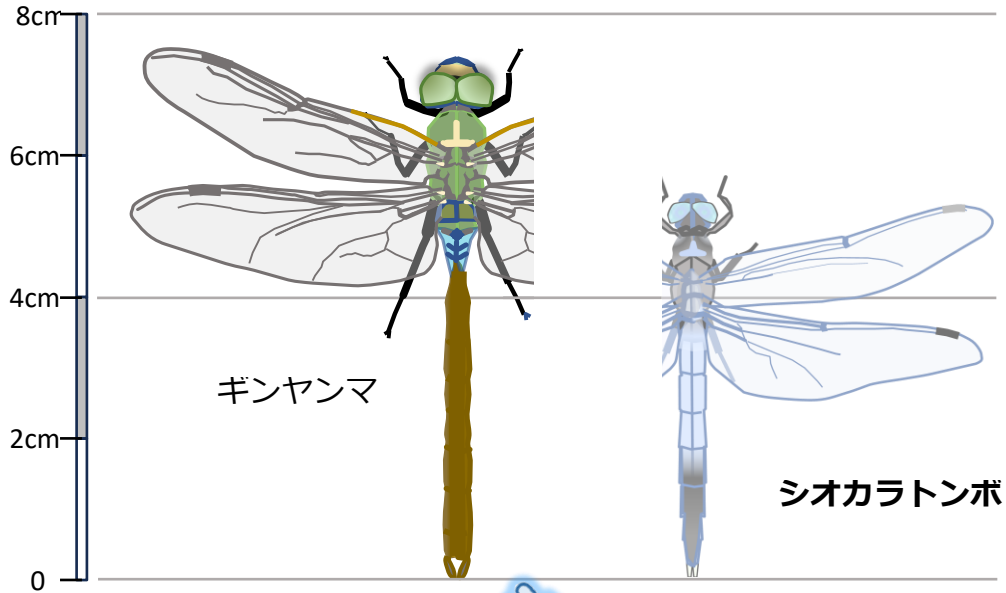
大きさ 約1cm  
食べ物 草の葉



**マメコガネ**

大きさ 約1cm  
食べ物 草の葉

### 3 ギンヤンマとシオカラトンボ



シオカラトンボのオスをギンヤンマだと思ってしまう人がいるようです。全体に銀色っぽいのでまちがえてしまいますよね！

ギンヤンマは、ずっと大きく、体は緑色をしています。大きな明るい池の周りでよく見られます。

ギンヤンマが、いつも飛んでいて、じっとどこかにとまっているところは、なかなか見られません。

でも、タマゴを生むときは、オスとメスがつながって、草やかれ枝などにとまるので、見つけてください。

#### ←ギンヤンマの産卵

オスが上、メスが下。メスは、おなかの先を草の中にさし込んでタマゴを産む。

シオカラトンボ 5cm～6cm



オオシオカラトンボ 5cm～6cm



シオカラトンボのなかまのオスは、ヤゴから出たときに、メスのような色やもようをしています。時間がたつと、だんだん体の表面に白っぽいコナがふき、銀色っぽく見えるようになります。

コシアキトンボ 4cm～5cm







コシアキトンボは、シオカラトンボや、ギンヤンマがいる池で、見ることが多いです。

ここには、港区内で、よく見かけるトンボが示されています。

このほかにも、オニヤンマやイトトンボ類など、約30種類のトンボが見られます。

# 4 アカトンボのなかま

## 赤トンボ 見分けのコツ

-  1種類ではなくたくさんの種類がいる
-  ヤゴから出てきたときは、ほとんどオレンジ色
-  しっかり成長するとオスの体は赤くなる
-  メスはオスほど赤くはならない

### ナツアカネ

胸の横に黒い線が入る  
夏は、高原に移動する  
1年に1回だけ発生  
3.3cm～4.2cm



### アキアカネ

胸の横に黒い線が入る  
夏は、高原に移動する  
1年に1回だけ発生  
3.3cm～4.6cm



### コノシメトンボ

胸の横にもようはない  
はねの先が黒くなる  
1年に1回だけ発生  
3.8cm～4.5cm

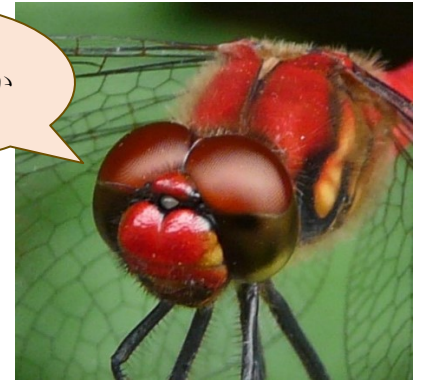


### アキアカネ・ナツアカネ 見分け方

○のところをよく見てね。



ぼくナツアカネ  
なかまをしょうかい  
するよ！



写真の左上についているのは  
7,8月に港区でよくみられるすがた

写真

左は、メス、またはわかいオス  
右は、成じゅくしたオス

### ショウジョウトンボ

おなかが平たい  
翅の付け根に色がつく  
1年に2回発生  
3.8cm～5.5cm



### ウスバキトンボ

胸の横にもようはない  
熱帯地域から飛んでくる  
1年に何回も発生  
4.4cm～5.4cm



ウスバキトンボは、アキアカネ  
などのメスや、わかいオスとよく  
まちがえられます。  
むねに全くもようがないので、  
よくたしかめてみてください。



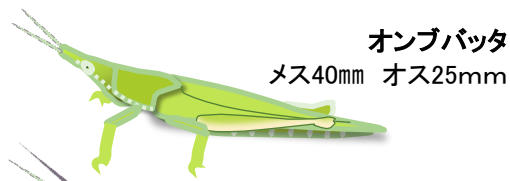
「夏の虫調査隊」では、えらんだ14種類の中にアカトンボのなかまはウスバキトンボがしょうかいされているけど、ほかのトンボも見つけてね。

そして、わかる人は、アカトンボと書くのではなく、このしりょうを見て、アキアカネとか、ショウジョウトンボみたいに、正しい名前を書いてもらえるとうれしいな！

# 5

## バッタのなかま

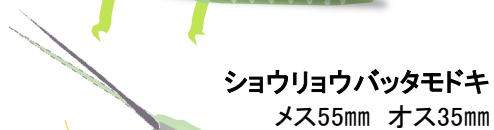
とんがり頭の、よく似たバッタ



オンブバッタ  
メス40mm オス25mm

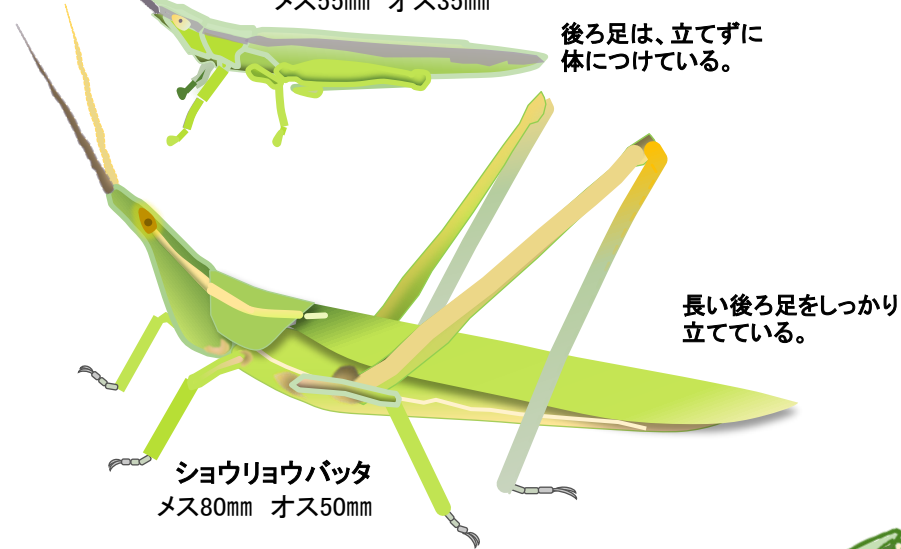


上のにっているのがオス



ショウリョウバッタモドキ  
メス55mm オス35mm

後ろ足は、立てずに  
体につけている。



長い後ろ足をしっかり  
立てている。

ショウリョウバッタ  
メス80mm オス50mm

ヘルメット頭の大きなバッタ



トノサマバッタ



ツチイナゴ



クルマバッタモドキ

トノサマバッタは、港区内ではほとんど見られない。ツチイナゴは、目のまわりがピエロのように黒い線になる。クルマバッタモドキは、顔がまだらもようになる。

# 6

## セミのなかま (ぬけがらで見分ける)

抜け殻を見つけたら…



だいたい  
こんな感じ

大きさは  
2.5cmより

大きい 小さい



ヒグラシ

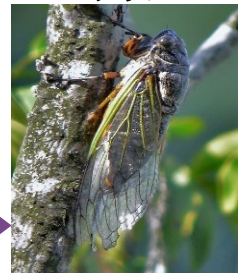
ちょっと  
違うかな…。

よく見てね

足の間に出っぱり

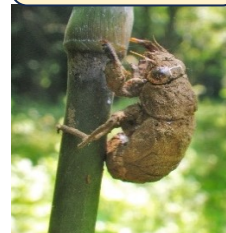


ない ある



クマゼミ

だって、  
ドロがついてる



ニイニイゼミ

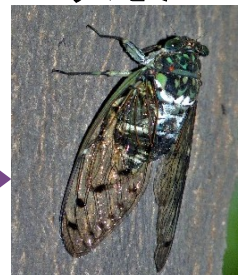
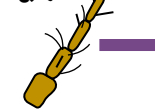
体がピンと  
伸びてるよ



ツクツクボウシ

ぬけがらの  
アンテナ  
(しよっかく)

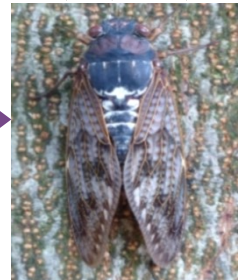
細くて毛が  
少ない



ミンミンゼミ

太くて毛が  
多い

3番目が  
長い



アブラゼミ

←ニイニイゼミは、土  
から出てくるときに、  
出口にえんとつのようなものを作る。

